

調査研究報告書の要約

分類・テーマ別		分類・業種別			
書名	機械安全の実現のための促進方策に関する調査研究報告書（Ⅱ） ー機械安全実現へのセカンドフェーズに関する調査検討ー				
発行機関名	社団法人 日本機械工業連合会				
発行年	2011年3月	頁数	51頁	識別	

[目次]

本論

- 1 調査研究の目的概要
- 2 検討部会の開催
- 3 前年度検討項目の整理
- 4 論点の整理
 - 4.1 「攻めの安全」の再定義
 - 4.2 安心に繋がる安全の実現
- 5 企業活動と安全性の考慮
 - 5.1 工作機械の安全性確保に向けての取組み
 - 5.2 自動車産業における安全性確保に向けての取組み
- 6 機械安全セカンドフェーズに関する検討
 - 6.1 検討の切り口
 - 6.2 検討部会による検討指摘事項
 - 6.3 検討指摘事項の整理
- 7 機械安全セカンドフェーズに向けた課題整理
 - 7.1 企業における安全の認識
 - 7.2 生産システムとしての安全性の確認
 - 7.3 中小製造企業の機械設備安全化の支援
 - 7.4 機械安全普及の社会基盤要素の整備

[要約]

機械の安全性確保については、ISO/IEC 国際標準により、安全の基本概念から個別機械の安全性にいたるまで、体系化された標準が構築されている。この体系化された考え方が、最近では、欧米はもとより、日本を除くアジア諸国においても浸透している。

我が国の機械産業が、今後も国際市場をリードしていくことは勿論のこと、我が国の産業事故の削減に貢献していくためにも、機械の安全性を確保し国際安全標準の考え方に対応していくことが必要である。それを推進するためには、製造企業の経営者が、機械安全への取組みを企業競争力に繋がる方策と認識し守りと言える義務的な姿勢ではなく、自ら進んで積極的に取り組む謂わば攻めの姿勢が従来以上に必要とされる。しかしながら、現状では、機械安全への取組みにかかるコストを製品や企業への付加価値として転換しきれていない状況である。

本事業は、機械安全への取組みが企業価値（ブランドイメージ）を向上させると共に、競争力にも繋がる積極的な企業共通の価値観とするためのセカンドフェーズとしての段階への活動方策を検討することを目的とした調査研究である。

そして、機械製造企業の経営者層に対して機械安全への取組みの重要性をより深く理解して頂き、市場にアピールできるような機械安全への取り組みの一助となるようとりまとめることができた。